

2022年10月20日

報道関係者各位

サスメド株式会社

名古屋市立大学とサスメドの共同開発案件がAMED令和4年度「革新的がん医療実用化研究事業」に採択

サスメド株式会社（以下、「サスメド」）が公立大学法人名古屋市立大学（以下、「名古屋市立大学」）と、2022年4月より進めていました「機能性疾患を対象とした治療用アプリの開発」の一環として、研究開発課題名「乳がん患者の乳がん切除後疼痛症候群に対するスマホ精神療法の開発：革新的な分散型基盤を用いた多機関共同無作為割付比較試験」が日本医療開発機構（AMED）の令和4年度「革新的がん医療実用化研究事業」として採択されました。

がん治療の発展は目覚ましい一方で、患者はさまざまな苦痛を経験しており、その代表が術後の痛みです。中でも手術を受けた乳がん患者の20-60%が慢性、遷延性の疼痛を有し、これは乳がん切除後疼痛症候群と呼ばれ、就労や再発恐怖にも悪影響を及ぼし、生活の質を低下させます。痛みは、国際疼痛学会によって「実際の組織損傷もしくは組織損傷が起こりうる状態に付随する、あるいはそれに似た、感覚かつ情動の不快な体験」と定義されるなど、本来的に情動的な体験であり、中でも慢性痛に対しては心理療法の有用性が高いエビデンスで示されています。

名古屋市立大学とサスメドは、「機能性疾患を対象とした治療用アプリの開発」として、慢性痛をはじめとする機能性疾患に悩まれる患者さんを対象とした治療用アプリ開発に向けた研究を進めてまいりました。そこには、アクセプタンス&コミットメント・セラピー(ACT)の実践をはじめとする名古屋市立大学の臨床知見とサスメドが培ってきた治療用アプリの特許技術および開発ノウハウが活かされています。今回採択された研究開発課題では、「全てのがん患者とその家族の苦痛の軽減と療養生活の質の維持向上」を達成し、がん対策加速化プランの背景として指摘されたがん治療に伴う苦痛緩和が不十分という現状を改善することのエビデンス創出を目標に研究開発を進めてまいります。

<サスメド株式会社について>サスメド株式会社は、デジタル医療を推進する研究開発型企业です。臨床開発支援システムのほか、医療用アプリ開発の汎用プラットフォーム、不眠症治療用アプリ開発及び AI 自動分析システムの提供を行っています。ブロックチェーン技術の医療応用や医療用アプリについての各種特許を取得するなど、技術に立脚しデジタル医療を推進しています。

URL : <https://www.susmed.co.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

サスメド株式会社 E-mail: support@susmed.co.jp